

中小機構が行っているファンド出資事業の概要

事業全体の趣旨・特徴

ベンチャー・中小企業の自己資本の不足等を補う資金の供給を目的としたファンドに対して、民の補完として中小機構が資金の一部を出資し、民間資金供給の呼び水として機能。

対象とするファンドは、創業、新事業の促進や事業再生の支援等、高い政策的意義を有し、かつ、期待収益率、投下資本回収期間等の点から、民間資金のみでは組成が困難なもの。

民の補完の観点から、出資額は、ファンド総額の1/2以内に限定。

ベンチャーファンド

アーリーステージ(設立7年未満)のベンチャー企業への重点的な出資を目指すファンドへ出資。(平成10年度~)

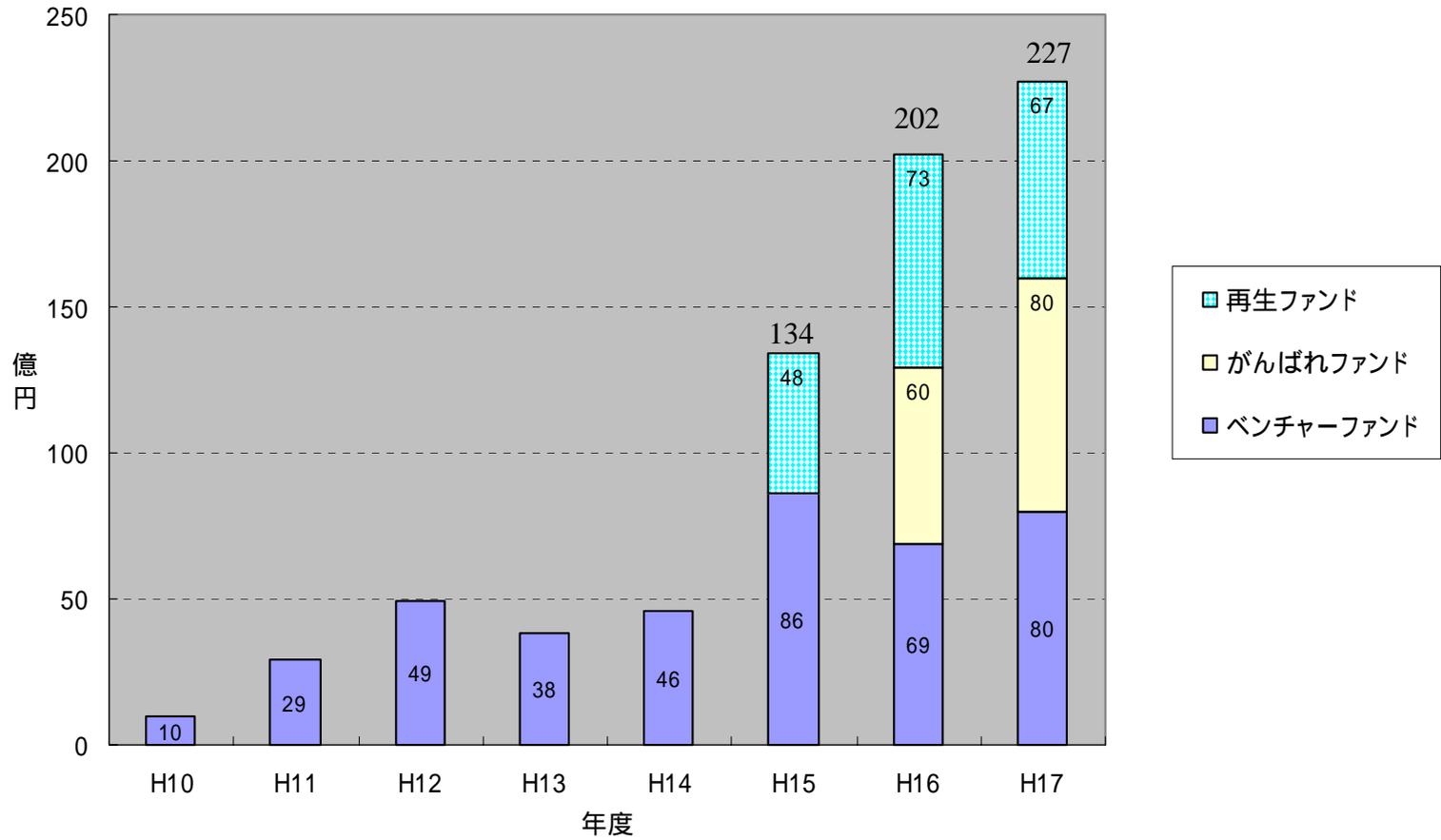
がんばれ！中小企業ファンド

中小企業の新事業展開や第二創業を支援するため、新規事業の収益に着目したプロジェクトファイナンス的な投融資等を行うファンドへ出資。(平成16年度~)

中小企業再生ファンド

経営上の問題は抱えているが、再生の意欲と可能性を持つ中小企業の再生のため、中小企業再生支援協議会と連携し、株式、債権の保有等により資金供給することを目的とするファンドへ出資。(平成15年度~)

ファンド出資実績(機構出資決定分)



(18年3月末時点)